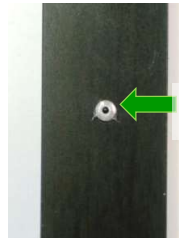


商品は部材の状態での納品します。  
組立が必要です。



鉄心



リベット

★注意！★

支柱2本にはリベットで強化鉄心を固定しています。  
必ず強化鉄心入りの支柱が両端にくるよう施工して下さい。  
リベット部分は埋め込むので外部からは見えません。

①基礎ブロックで土台を作る



基礎ブロックを  
地中に埋め込み、



ハンマー等で叩き、  
基礎ブロックを水平に  
設置します。

水平器等で確認して下さい。

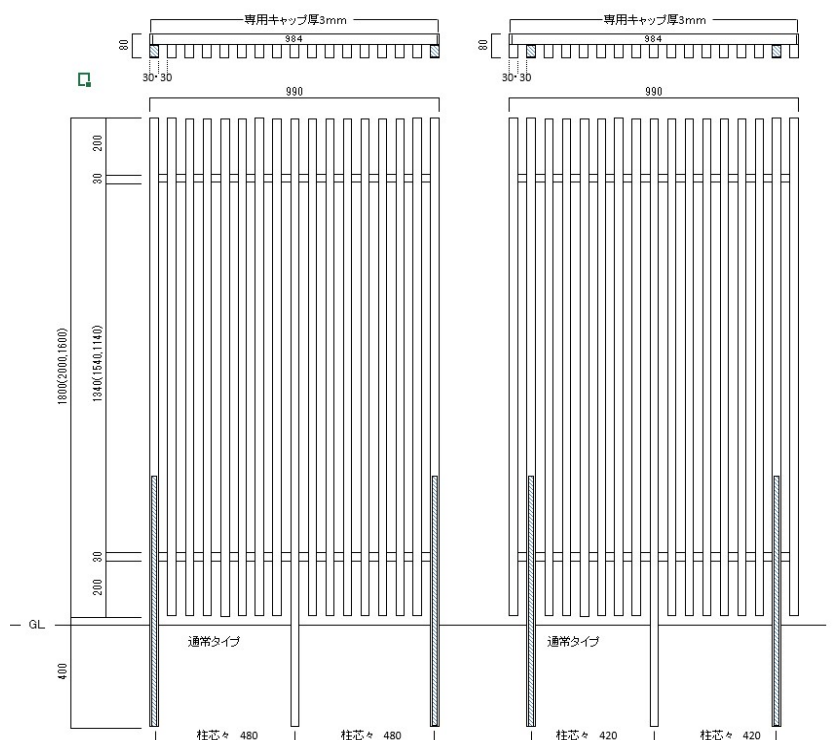
水糸を張り、土台が真っ直ぐな事、  
高さが揃っている事を確認して下さい。

土台の中心から中心までの長さをしっかり測り、  
支柱に合わせた位置に基礎ブロックを設置します。

格子ウォールは柱芯々が支柱が両端の場合は  
480mm、1本内側に入る場合は420mmです。



基礎ブロックを設置した穴に  
モルタルを入れて固めて下さい。



※連結タイプと繋げる場合は、支柱を両端に施工して下さい。

## ②ウォールのパーツを組み立てる



平らな地面等にパーツを置き、  
一番外側の格子から固定します。



次に支柱を固定します。

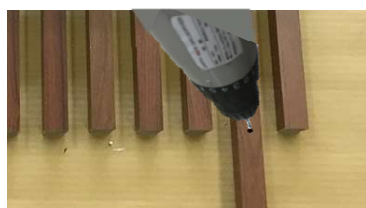


外側から順番に格子を  
組み上げて下さい。



横棧側からネジ止めをする事により、  
ウォール正面側からはネジが見えない  
仕上がりになります。

## ③支柱に水抜き穴をあける



パーツが組めたら支柱(2400mmの柱材)に水抜き穴を開けます。  
電動ドライバー等で、地表から1~2cm程度の位置に  
直径4mm程度の穴を開けて下さい。

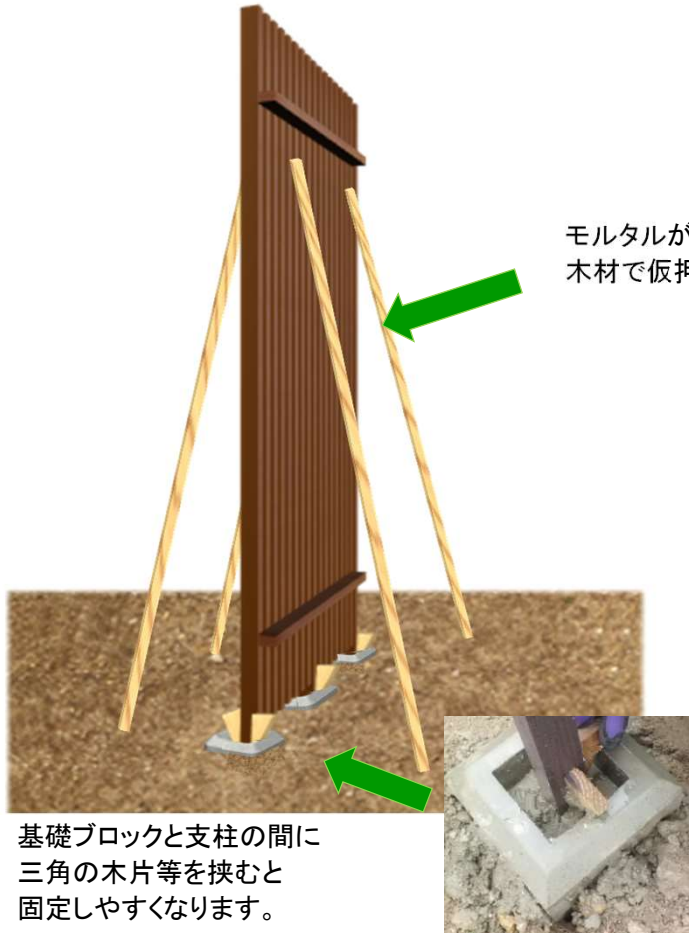
水抜き穴は凍結防止用です。  
設置の際にモルタルなどで塞がないよう気を付け下さい。

## ④ウォール上部と横棧の端に専用キャップを取り付ける

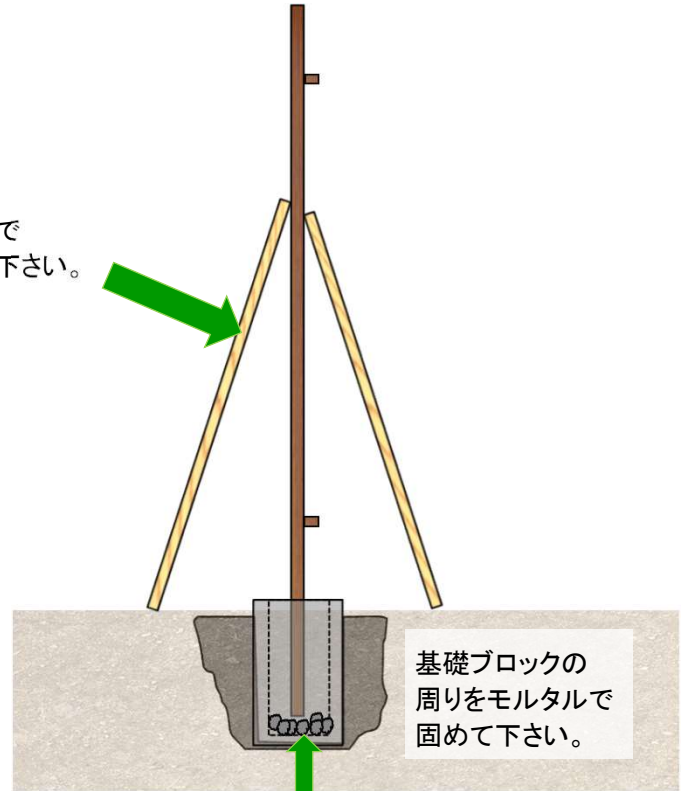
専用キャップを取り付ける時は、  
ボンドやコーキング材を使用して  
しっかり固定して下さい。



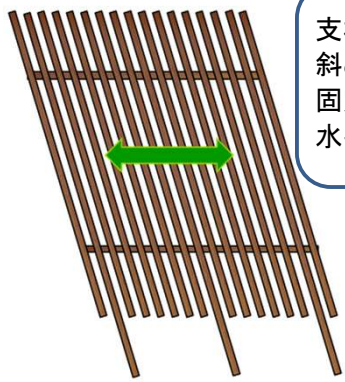
## ⑤ウォールを基礎ブロックに設置しモルタルを流し込み固定する



モルタルが固まるまで木材で仮押さえして下さい。

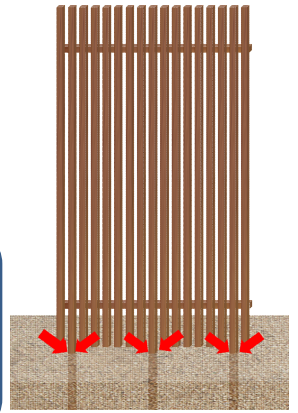


モルタルを入れる前に基礎ブロックの穴に小石等を入れ高さを調整して下さい。



支柱はギリギリまで埋め込んで下さい。

高さのあるウォールを支える為に400mmの埋め込みが必要です。



## ⑥完成



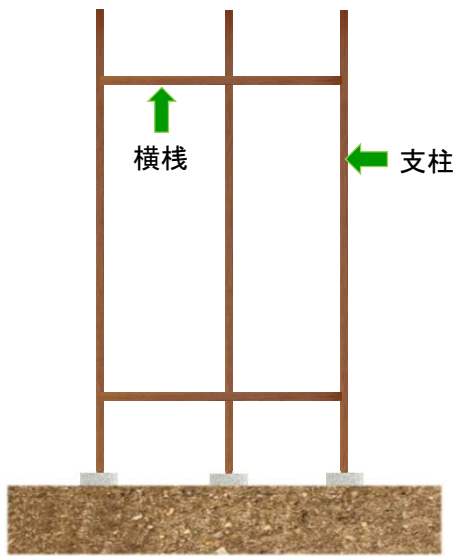
モルタルが固まればウォールの完成です。  
お疲れ様でした。

連結タイプも販売しております。  
繋げて長いウォールとして使用可能！  
商品カテゴリー【ウォール】をご覧ください。

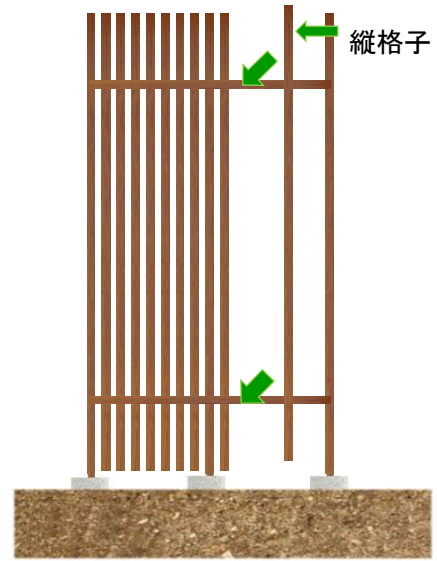


※このキット商品は重量が1セットにつき21kg～29kg程ございます。

組み立てたウォールを支える事に不安がある場合は、横棧と支柱を先に固定する施工方法をお勧めします。

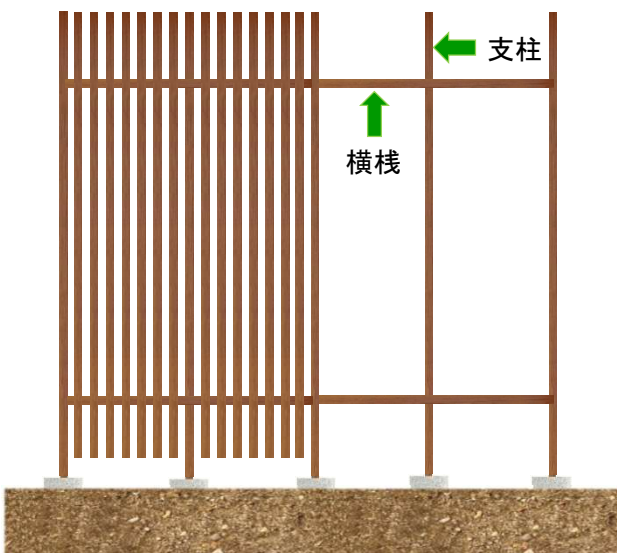


支柱と横棧のみを組み立て、モルタル等で基礎ブロックに固定します。  
この時点で支柱が垂直である事と横棧が水平であることを必ず確認して下さい。



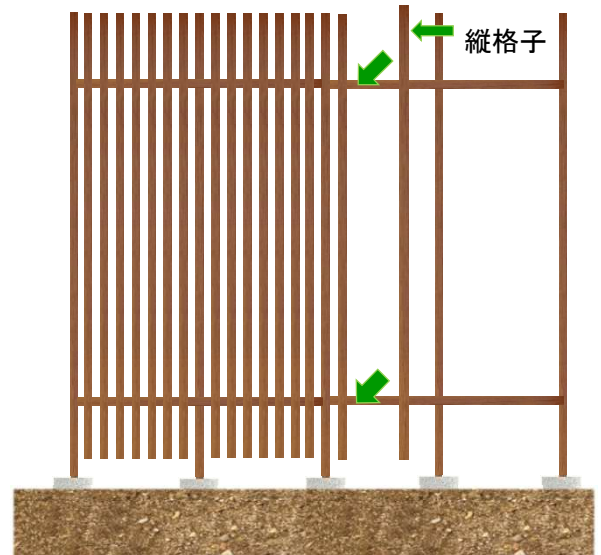
モルタルが固まったら  
1本ずつ縦格子を取付けて下さい。

※基本タイプを先に施工され後から連結タイプで延長される場合、組立後の連結に必要な32mmのスライド幅が基礎ブロックの中で確保できなかった場合でも、先に支柱と横棧を連結し後から縦格子を取付ける方法で施工が可能です。



施工済みの基本タイプの一番外側の支柱(もしくは縦格子)を固定しているネジを一旦外し、連結タイプ付属の連結材の中に入れて再度ネジ止めをして下さい。  
固定されたネジを外す事によりネジ穴が広がる事が考えられるので、できれば直径4.5～5mm程度のネジを別途ご用意下さい。

仮固定した連結タイプ支柱に、連結タイプ横棧を基本タイプに取付けた連結材にはめ込んでからネジで固定して下さい。  
支柱の垂直と横棧の水平をしっかりと確認後に支柱をモルタル等で本固定します。



モルタルが固まったら  
1本ずつ縦格子を取付けて下さい。